

平成 26 年度 事業報告

検診車のデジタル化の完了

健診の精度管理、受診者の利便性の一層の向上を目指し、老朽化や県民のニーズの高い健診に対応するため、デジタル検診車の新規整備や更新を図ってきた。

平成 26 年度までに胃がん検診車 3 台、胸部検診車 3 台、超音波検診車 3 台、及び乳がん検診車 2 台のデジタル化を行い、胃がん検診車 1 台をデジタル検診車に更新発注（平成 27 年 7 月納入予定）した。

これにより、健康管理事業団の全ての検診車のデジタル化が完了するとともに、鮮明な高画質画像を得られること、撮影画像がリアルタイムに表示できることなど、受診者に一層、高精度の健診を提供できる体制が整えられた。

第 3 期経営計画の策定

健康管理事業団は、昭和 58 年 4 月に県、市町村、医師会の三者により設立され、以来「社会貢献」「顧客満足」「精度管理」「職員意識」の経営理念のもと、県内の健診事業に大きな役割を果たしてきた。

平成 25 年に設立 30 周年を迎え、さらに平成 26 年 4 月から公益財団法人に移行し、県民の疾病の予防や健康増進に果たすべき役割は一層重大なものとなった。

このような中、前経営計画(平成 22 年度から平成 26 年度)の策定から 5 力年が経過し、今後の公益法人としての事業、並びに事業団の経営理念のもとでの健診事業や更なる経営健全化への取り組みを計画的に進めるため、新たな 5 力年経営計画を策定した。

I 健診事業

高齢化の急速な進展に伴い疾病構造も変化し、疾病全体に占めるがんなど悪性疾患や生活習慣病である高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の疾病が増加し、これらの疾病が医療費に占める割合は約3分1となっている。国のがん対策推進基本計画(平成24年度から28年度)では、がん検診の受診率を5年以内に50%達成を目標に掲げ、また特定健診等実施計画(平成25年度から29年度)では、特定健診受診率70%、特定保健指導実施率45%、メタボ減少率25%達成を目標としており、県や市町村等一丸となって達成に向けて取り組んでいるなか、事業団は公益財団法人として県民から一層信頼できる施設として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めていく。

平成26年度は市町村総合健診実施日数が、昨年より上野原市で5日、大月市で3日増えたことなどにより特定健診、各がん検診等の総受診者数で1,393人増加した。

また、フィブロスキャン測定装置で肝硬度値(肝臓の繊維化による硬さ)と肝脂肪値を数値で測定する検査を26年度は、早川町、富士川町に加え、道志村、富士河口湖町で新たに実施した。

1 住民健康診査

(1) 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下12市町村より委託を受け、平成26年度は、40歳から74歳を対象とした特定健診10,892人、75歳以上の後期高齢者の健診3,043人、39歳以下の若年者の健診1,000人合せて14,935人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して1,007人増加した。メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当1,388人(9.3%)、予備群該当1,346人(9.0%)、非該当11,300人(75.7%)、判定不能(項目不足ため)901人(6.0%)であった。

【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
平成22年度	11	12,217	1,146	9.4%	1,548	12.7%	8,696	71.2%	827	6.8%
平成23年度	11	11,936	1,066	8.9%	1,507	12.6%	8,531	71.5%	832	7.0%
平成24年度	11	12,978	1,143	8.8%	1,130	8.7%	9,847	75.9%	858	6.6%
平成25年度	12	13,928	1,319	9.5%	1,174	8.4%	10,553	75.8%	882	6.3%
平成26年度	12	14,935	1,388	9.3%	1,346	9.0%	11,300	75.7%	901	6.0%
比較増減	0	1,007	69	—	172	—	747	—	18	—

【特定健康診査等 ②階層化判定】

	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能	
平成22年度	11	9,646	608	6.3%	1,597	16.6%	7,441	77.1%	9	0.1%
平成23年度	11	9,491	559	5.9%	1,548	16.3%	7,379	77.7%	5	0.1%
平成24年度	11	10,375	318	3.1%	752	7.2%	9,304	89.7%	1	0.0%
平成25年度	12	10,198	233	2.9%	736	7.2%	9,221	90.4%	8	0.1%
平成26年度	12	10,892	224	2.1%	805	7.4%	9,863	90.6%	0	—
比較増減	0	694	▲9	—	69	—	▲642	—	▲8	—

(2) 特定保健指導

平成 26 年度、特定健診を実施した 12 市町村のうち 6 市町から特定保健指導を受託し、積極的支援 65 人、動機づけ支援 72 人の指導を実施した。動機づけ支援については、上野原市の実施形態変更と大月市の新規受託により増加している。

(平成 26 年度の特定保健指導は平成 27 年 8 月末まで継続中)

【特定保健指導実施状況】

	積極的支援							動機づけ支援				
	H22	H23	H24	H25		H26		H22	H23	H24	H25	H26
				(A)	(C)	(A)	(C)					
上野原市	7	6	7	8	1	11	7	20	5	6	8	46
都留市	6	7	34	23	13	14	13	—	—	—	—	—
富士川町	22	11	9	10	3	10	1	—	—	—	—	—
富士河口湖町	/	2	5	5	4	1	0	/	11	15	17	15
南部町	3	5	1	5	0	8	0	—	—	—	—	—
大月市	/	/	/	/	/	—	—	/	/	/	/	11
合計	38	31	56	51	21	44	21	20	16	21	25	72

※ 人数は、初回面接終了者数を計上

【特定保健指導結果】

平成 25 年度の実績で、最終評価終了者 86 人中メタボ脱出した者は、20 人(23.3%)であった。

平成 25 年度（市町村合計）

	積極的支援(A)			積極的支援(C)			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	42	9	51	19	2	21	16	9	25	77	20	97
途中終了者	6	0	6	4	0	4	0	1	1	10	1	11
最終評価終了者	36	9	45	15	2	17	16	8	24	67	19	86
メタボ脱出者	8	3	11	2	0	2	4	3	7	14	6	20
内服開始者	3	0	3	0	1	1	1	3	4	4	4	8

2 各種がん検診

平成 26 年度は市町村総合健診で大月市と上野原市の実施日数増加や、全体的に受診者が増えたことにより、各種がん検診も増加となっている。

(1) 胃がん検診

平成 26 年度は、県下 17 市町村の住民 10,890 人、県職員及び事業所職員等 3,641 人合せて 14,531 人の検診を実施し、前年度と比較して 310 人増加した。

県医師会読影委員会による判定の結果、精密検査を要する者は 1,406 人要精検率 9.7%で、追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 1,053 人、精検受診率 74.9%であり、精密検査結果は、がん発見数 11 人(発見率 0.08%)であった。

【胃がん検診実施状況】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検受診率	がん 発見数	がん発見率
平成 22 年度	16	15,419	1,596	10.4%	1,132	70.9%	10	0.07%
平成 23 年度	16	14,747	1,717	11.6%	1,296	75.5%	9	0.06%
平成 24 年度	16	14,619	1,340	9.2%	1,012	75.5%	9	0.06%
平成 25 年度	17	14,221	1,428	10.0%	1,099	77.0%	7	0.05%
平成 26 年度	17	14,531	1,406	9.7%	1,053	74.9%	11	0.08%
比較増減	0	310	▲22	—	▲46	—	4	—

【精検結果内訳（がんを除く）】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
平成 22 年度	284	82	24	544	188
平成 23 年度	393	106	0	598	190
平成 24 年度	264	78	11	524	126
平成 25 年度	248	76	15	566	187
平成 26 年度	202	95	9	601	135

(2)肺がん検診

平成26年度は、県下13市町村の住民19,919人、県職員及び事業所職員等3,770人合せて23,689人の検診を実施し、前年度と比較して486人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は591人、要精検率2.5%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は447人、精検受診率75.6%であり、精密検査結果は、がん発見数10人で、がん発見率0.04%であった。また、喫煙者(喫煙指数600以上)等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて320人が受診し、がんの発見はなかった。

【胸部検診実施状況】

(平成27年3月末現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
平成22年度	11	20,732	571	2.8%	431	75.5%	7	0.03%
平成23年度	11	21,585	459	2.1%	347	75.6%	6	0.02%
平成24年度	11	23,602	643	2.7%	539	83.8%	20	0.09%
平成25年度	13	23,203	609	2.6%	494	81.1%	10	0.04%
平成26年度	13	23,689	591	2.5%	447	75.6%	10	0.04%
比較増減	0	486	▲18	—	▲47	—	0	—

【肺がん喀痰細胞診実施状況】

(平成27年3月末現在)

	市町村数	受診者数 (検体数)	異常認めず	追加検査	要精検者数	精検受診者数	がん発見数	がん発見率
平成22年度	10	586	569	3	0	—	—	—
平成23年度	10	517	515	1	1	1	0	0.00%
平成24年度	10	247	241	0	0	—	—	—
平成25年度	10	311	304	0	1	1	0	0.00%
平成26年度	10	320	310	0	0	—	—	—
比較増減	0	9	6	0	0	—	—	—

※ 検体不良による判定不能があり検体数と結果数が一致しない

(3) 大腸がん検診

平成 26 年度、県下 12 市町村の住民 13,114 人、及び事業所職員など 4,709 人合わせて 17,823 人の検診を実施した。国のがん検診推進事業(無料クーポン配布)の効果や県職員の新規受託などもあり受診者数が前年度と比較して 2,319 人増加した。受診者のうち無料クーポン対象者は 1,793 人であった。

受診者のうち精密検査を要する者は 973 人で要精検率 5.5%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 505 人、精検受診率は 51.9%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数 11 人(発見率 0.06%)であった。

【大腸がん検診実施状況】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
平成 22 年度	11	12,296	608	4.9%	310	51.0%	8	0.07%
平成 23 年度	11	12,525	616	4.9%	321	52.1%	13	0.04%
平成 24 年度	11	13,558	678	5.0%	424	62.5%	13	0.11%
平成 25 年度	12	15,504	844	5.4%	544	64.5%	29	0.19%
平成 26 年度	12	17,823	973	5.5%	505	51.9%	11	0.06%
比較増減	0	2,319	129	—	▲39	—	▲18	—

【精検結果内訳 (がんを除く)】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他	異常認めず
平成 22 年度	122	36	0	39	105
平成 23 年度	135	34	1	64	74
平成 24 年度	158	54	21	58	119
平成 25 年度	225	61	35	30	164
平成 26 年度	239	52	36	36	131

(4) 乳がん検診

平成 26 年度は、県下 15 市町村の住民 10,069 人、県教委及び事業所職員等 1,197 人、合せて 11,266 人の検診を実施し、南部町、山中湖村の新規受託もあり、前年度と比較して 1,876 人増加した。受診者のうち無料クーポン対象者は 1,148 人であった。

検診内訳は、マンモグラフィのみ 5,816 人、視触診とマンモグラフィ併用 3,105 人、乳腺超音波検査のみ 1,281 人、視触診と超音波検査併用 1,015 人、その他 49 人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者 399 人で要精検率 3.5%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 305 人、精検受診率は 76.4%で、精密検査結果は、がん発見数 8 人(発見率 0.07%)であった。

【乳がん検診実施状況】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
平成 22 年度	12	7,429	419	5.6%	333	79.5%	10	0.14%
平成 23 年度	11	8,013	516	6.4%	441	85.5%	12	0.15%
平成 24 年度	11	8,709	372	4.3%	335	90.0%	18	0.21%
平成 25 年度	13	9,390	358	3.8%	296	82.7%	16	0.17%
平成 26 年度	15	11,266	399	3.5%	305	76.4%	8	0.07%
比較増減	2	1,876	41	—	9	—	▲8	—

【精検結果内訳 (がんを除く)】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	乳腺症	線維腺腫	乳腺のう胞	その他	異常認めず
平成 22 年度	62	31	36	12	176
平成 23 年度	78	27	72	37	215
平成 24 年度	57	38	44	44	132
平成 25 年度	48	36	34	50	112
平成 26 年度	43	27	50	46	131

【平成 26 年度 実施方法別】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	5,816	203	3.5%	169	83.3%	4	0.07%
視触診+マンモグラフィ	3,105	140	4.5%	96	68.6%	3	0.10%
乳腺超音波	1,281	25	2.0%	20	80.0%	1	0.08%
視触診+乳腺超音波	1,015	29	2.9%	19	65.5%	0	—
その他組合せ	49	2	4.1%	1	50.0%	0	—

(5) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診を事業団施設にて、協会けんぽ対象事業所健診及びレディース健診として実施した。平成 26 年度は、受診者 186 人で、前年度と比較して 24 人増加した。精密検査を要する者はいなかった。

【子宮頸がん検診実施状況】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数
平成 22 年度	236	1	0.4%	1
平成 23 年度	177	0	—	—
平成 24 年度	139	4	2.9%	1
平成 25 年度	162	0	—	—
平成 26 年度	186	0	—	—
比較増減	24	0	—	—

(6) 腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、平成 26 年度は、17 市町村の住民 21,522 人、事業所職員等 795 人合せて 22,317 人の検診を実施し、上野原市、大月市での日数増加と、甲府市連携健診の受診者数増加等により、前年度と比較して 2,064 人増加した。受診者のうち精密検査を要する者は 926 人で要精検率 4.2%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 634 人、精検受診率は 68.5%で、精密検査結果は、肝がん 3 人、腎臓がん 2 人の合計 5 人(発見率 0.02%)であった。

【腹部超音波検診実施状況】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率
平成 22 年度	16	19,349	692	3.6%	437	63.2%
平成 23 年度	16	19,626	893	4.6%	557	62.4%
平成 24 年度	16	20,454	1,083	5.3%	749	67.7%
平成 25 年度	17	20,253	746	3.7%	533	71.5%
平成 26 年度	17	22,317	926	4.2%	634	68.5%
比較増減	0	2,064	180	—	101	—

【臓器別がん発見数】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
平成 22 年度	7	0	1	0	0	8	0.04%
平成 23 年度	3	1	2	3	3	12	0.06%
平成 24 年度	6	0	0	1	0	7	0.03%
平成 25 年度	6	1	2	1	2	12	0.06%
平成 26 年度	3	0	2	0	0	5	0.02%

【臓器別疾患数】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	脾臓	その他	異常なし
平成 22 年度	100	136	60	57	5	6	53
平成 23 年度	215	259	115	76	5	49	58
平成 24 年度	192	230	71	85	1	88	75
平成 25 年度	109	105	56	102	2	87	60
平成 26 年度	158	124	56	103	1	45	85

(7) 前立腺がん検診 (血液 PSA 検査)

平成 26 年度は、県下 10 市町村の住民 3,608 人、事業所職員等 407 人、合わせて 4,015 人実施し、前年度と比較して 351 人増加した。受診者のうち精密検査を要する者は 229 人で要精検率 5.7%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 128 人、精検受診率は 55.9%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数 9 人(発見率 0.22%)でがん疑いの者 49 人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑
平成 22 年度	9	2,502	176	7.0%	102	58.0%	14	0.56%	41
平成 23 年度	9	2,745	116	4.2%	67	57.7%	8	0.29%	16
平成 24 年度	9	3,406	154	4.5%	98	63.6%	18	0.53%	24
平成 25 年度	10	3,664	231	6.3%	162	70.1%	26	0.71%	42
平成 26 年度	10	4,015	229	5.7%	128	55.9%	9	0.22%	49
比較増減	0	351	▲2	—	▲34	—	▲17	—	7

【精検結果内訳・がん以外】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず
平成 22 年度	26	3	18
平成 23 年度	21	2	20
平成 24 年度	27	13	16
平成 25 年度	39	12	43
平成 26 年度	35	12	23

(8) フィブロスキャン検診

平成 26 年度は、富士川町、早川町に加え、道志村と富士河口湖町の 4 町村で実施し、住民 313 人の検診を実施し、前年度と比較して 115 人増加した。

受診者のうち肝硬度値判定による要精検者は 14 人、肝脂肪量判定の要精検者は 65 人であった。

【フィブロスキャン検診実施状況】

	受診者数	肝硬度値判定				肝脂肪量 (CAP) 判定			
		異常認めず	要観察	要精検	判定不能	異常認めず	要観察	要精検	判定不能
平成 25 年度	198	127	48	20	3	52	96	39	11
平成 26 年度	313	232	67	14	0	93	154	65	1
比較増減	115	105	19	▲6	▲3	41	58	26	▲10

(9) 結核検診

平成 26 年度は、住民、事業所職員及び高校・大学生等、合せて 45,473 人の検診を実施し、前年度と比較して 356 人増加した。

受診者のうち精密検査を要する人は 1,511 人、要精検率 3.3%であった。追跡調査の結果、結核感染者の発見はなかった。

【結核検診実施状況】

(平成 27 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核患者数	異常認めず
平成 22 年度	46,042	879	1.9%	578	65.8%	1	245
平成 23 年度	45,963	663	1.4%	450	67.9%	0	186
平成 24 年度	46,546	827	1.8%	557	67.4%	0	385
平成 25 年度	45,117	770	1.7%	540	70.1%	0	226
平成 26 年度	45,473	1,511	3.3%	1,058	70.0%	0	368
比較増減	356	741	—	518	—	0	142

※ 要精検者数の増加は、胸部 X 線検査のデジタル化による画像診断で、呼吸器疾患以外の疾患（心肥大等）についての異常が判定可能となったため

3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員、市町村教職員と県職員、県教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業などを合わせて16,255人の健診を実施し、新規4事業所の獲得や小規模事業所を集約した健診日数の増加などにより、前年度と比較して1,109人増加した。

【職域健診実施状況】

	市町村教職員	市町村職員	県教職員	県職員	大学・ 専門学校	民間企業等	合 計
平成22年度	1,651	706	2,150	2,615	3,048	6,886	17,056
平成23年度	1,601	1,059	2,221	2,878	2,792	7,336	17,887
平成24年度	1,585	1,046	2,132	2,877	2,786	7,404	17,830
平成25年度	1,572	437	1,639	2,745	2,818	5,935	15,146
平成26年度	1,575	443	2,044	2,533	2,836	6,824	16,255
比較増減	3	6	405	▲212	18	889	1,109

4 学校保健安全法

(1) 心臓検診

平成 26 年度は、県教委、市町村教委の児童、生徒等合わせて 11,295 人の検査を実施した。前年度と比較して、心電図検査は 530 人減少、心電心音図検査では 10 人増加した。

心電図検査の要精検者数は 507 人、要精検率 4.7%で、心電心音図検査の要精検者数は 22 人、要精検率 5.3%であった。

【心電図・心音図検査実施状況】

	心電図検査			心音図検査		
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率
平成 22 年度	11,369	642	5.7%	477	25	5.2%
平成 23 年度	11,750	517	4.4%	507	26	5.1%
平成 24 年度	11,625	553	4.8%	461	52	11.3%
平成 25 年度	11,409	608	5.3%	406	21	5.2%
平成 26 年度	10,879	507	4.7%	416	22	5.3%
比較増減	▲530	▲101	—	10	1	—

(2) 寄生虫卵検査

平成 26 年度は、市町村教委の児童、保育園等の幼児合わせて 41,519 人の検査を実施したが、甲府市立保育所約 800 件の入札をはじめとした、安価で実施する検査機関への移行や少子化等の影響により、前年度と比較して 3,233 人減少した。寄生虫卵検査の保卵者数は 4 人、保卵率は 0.010%であった。

※学校保健安全法施行規則の改正により平成 28 年 4 月 1 日より児童、生徒等の健康診断において、寄生虫卵の有無の検査について、必須項目から除外することとされている。

【寄生虫卵検査実施状況】

	受検者数	保卵者	蟯虫	その他	保卵率
平成 22 年度	53,215	2	2	0	0.004%
平成 23 年度	48,446	7	7	0	0.014%
平成 24 年度	45,982	1	1	0	0.002%
平成 25 年度	44,752	3	3	0	0.007%
平成 26 年度	41,519	4	3	1	0.010%
比較増減	▲3,233	1	0	1	—

※その他の 1 件は、回虫卵

(3) 尿検査

平成 26 年度は、県教委、市町村教委、その他の児童、生徒及び保育園の幼児等 43,631 人の検診を実施した。他機関への移行や少子化等の影響により、前年度と比較して 2,359 人減少した。

1 次検査の陽性者 1,116 人(陽性率 2.6%)のうち、2 次検査を 1,005 人検査し、陽性者は 228 人(陽性率 22.7%)であった。

【尿検査実施状況】

	第 1 次検査			第 2 次検査		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
平成 22 年度	52,841	1,117	2.1%	951	189	19.9%
平成 23 年度	50,403	1,069	2.1%	900	173	19.2%
平成 24 年度	49,174	1,096	2.2%	923	201	21.8%
平成 25 年度	45,990	1,107	2.4%	968	223	23.0%
平成 26 年度	43,631	1,116	2.6%	1,005	228	22.7%
比較増減	▲2,356	9	—	65	4	—

	第 1 次検査 陽性者内訳				第 2 次検査 陽性者内訳			
	糖	蛋白	潜血	蛋白潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白潜血
平成 22 年度	45	235	799	38	12	22	146	9
平成 23 年度	58	160	820	31	15	14	139	5
平成 24 年度	44	262	758	32	10	41	140	10
平成 25 年度	45	267	769	26	12	47	153	11
平成 26 年度	35	330	715	36	11	74	127	16

(4) 血液貧血検査

平成 26 年度は市町村教委の児童、生徒等の 1,440 人の検査を実施し、前年度に比較して 12 人減少した。軽度異常者は 60 人(軽度異常率 4.2%)、要精検者 3 人(精検率 0.2%)であった。

【貧血検査実施状況】

	受診者数	軽度異常者数	軽度異常率	要精検者数	要精検率
平成 22 年度	1,430	82	5.7%	6	0.4%
平成 23 年度	1,506	74	4.9%	8	0.5%
平成 24 年度	1,470	54	3.7%	8	0.5%
平成 25 年度	1,452	44	3.0%	3	0.2%
平成 26 年度	1,440	60	4.2%	3	0.2%
比較増減	▲12	16	—	0	—

II がん対策

山梨県において昭和58年からがんは死亡原因の第1位であり、全死亡者の3分の1を占めている。また、国の推計によると、2人に1人が将来がんに罹り、3人に1人ががんで死亡するとされている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、「がん」の総合的な対策を推進している。

健康管理事業団は、県の委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営などさまざまながん対策を行っている。

また、事業団は日本対がん協会山梨県支部を兼ねており、9月のがん征圧月間中に普及啓発などを集中的に展開した。さらに、県や関係機関主催の行事に幅広く参加し、がん検診受診率向上に向けた啓発活動を積極的に行った。

1 がん相談

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に保健師、ピアサポーターの面接及び電話による三位一体でがん患者の相談にあたり、がん患者やその家族の不安や悩みの解消に努めた。

医師相談	4件
保健師相談	30件
ピアサポーター相談	26件

2 医師によるがん・健康相談

県民の日記念行事（11月15・16日）において、来場者に向けて医師の面接相談を行った。

相談者	19名
-----	-----

3 受診率向上のための普及啓発活動

・がん征圧月間街頭キャンペーン

8月30日	オギノ上野原店（上野原市）	参加者13名
9月2日	甲府駅周辺	参加者35名

・いきいき山梨ねんりんピック

9月27日	小瀬スポーツ公園	参加者5名
-------	----------	-------

・県民の日記念行事

11月15・16日	小瀬スポーツ公園	参加者18名
-----------	----------	--------

・乳がん予防啓発キャンペーン

10月26日	イオンモール	参加者2名
--------	--------	-------

・中小企業まつり・介護フェア

3月22日	アイメッセ山梨	参加者11名
-------	---------	--------

Ⅲ 普及啓発活動

1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載をするとともに、8月30日に上野原市のオギノ上野原店を会場に上野原市や富士北麓のがん検診受診率向上プロジェクト企業の協力のもと、チラシ等の配布や来場者対象に無料の乳がん検診を実施し、10名が受診した。

また、9月2日に甲府駅周辺において、県と県がん検診受診率向上プロジェクト企業5社、山梨ホスピス協会、がん患者サポートセンターでがん相談にあたっているがん経験者等の協力のもと、がん検診啓発のチラシ付フィルターコーヒを配布し、街頭キャンペーンを展開した。

そのほか、県下全市町村、医療機関、事業所等にごがん予防知識啓発用ポスター及びリーフレットを配布した。

2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月25日に、JR甲府駅構内において、県の協力のもと、結核予防普及啓発資料の配布などによる結核予防街頭キャンペーンを実施した。

3 講演会の開催

「脳卒中の予防」をテーマに山梨大学大学院 脳神経外科教授 木内博之 先生 が講演を行った。

健康づくりを推進している県・市町村・関係団体の関係者、一般の県民が集まり、3大疾病として関心が高い「脳卒中」はどういった病気なのかということを知り、普段から出来る予防やその大切さについて関心を寄せ、考える機会とした。

3月10日・山梨県立図書館 多目的ホール

出席者 200名

4 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを次のとおり実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

(1) 平成26年9月27日（土）

○ いきいき山梨ねんりんピック実行委員会主催「いきいき山梨ねんりんピック」
於 小瀬スポーツ公園

- ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、がん検診受診勧奨資材等配布
- ・複十字シール募金の展開
- ・健康教育パネルの展示

(2) 平成26年11月15・16日(土・日)

- 県主催「第29回県民の日記念行事」 於 小瀬スポーツ公園
 - ・ 医師による「がん相談・健康相談」の実施 相談者19名
 - ・ 血圧、骨密度、活力年齢測定
 - ・ 乳がん視触診モデル体験
 - ・ 結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、事業団パンフレット等配布
 - ・ 複十字シール募金の展開
 - ・ 健康教育パネルの展示

(3) 平成26年10月26日(日)

- 山梨県臨床衛生検査技師会主催「乳がん予防啓発キャンペーン」 於 イオンモール
 - ・ 乳がん視触診モデルを使用した触診法の指導
 - ・ 乳がん自己触診法リーフレット、乳がん予防冊子、がん患者サポートセンターパンフレット等配布

(4) 平成27年3月22日(日)

- 山梨県中小企業団体中央会主催「第20回中小企業組合まつり」
- 介護健康フェアinこうふ実行委員会外主催「第14回介護健康フェアinこうふ」
 - ・ 血圧脈波測定検査 於 アイメッセ山梨
 - ・ 保健師による生活習慣病指導
 - ・ マンモグラフィ検査(無料) 受診者17名
 - ・ 結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、事業団パンフレット等配布
 - ・ 健康教育パネルの展示

5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

7 その他広報資料の配付

事業団広報誌「健康管理事業団だより」を年3回発行している。また、結核予防会発行の「複十字」「健康の輪」、日本対がん協会発行の「対がん協会報」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配付し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

IV 研修事業

1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

名 称		開 催 月 日	参加人員
結核 予 防 会	平成26年度関東甲信越支部ブロック会議 (長野県)	11月21日	2人
	第19回結核予防関係婦人団体中央講習会	2月9日～10日	2人
	平成26年度結核予防会事業協議会研修会	3月19日	1人
	平成26年度結核予防会事業協議会総会	3月20日	1人
日 本 対 が ん 協 会	平成26年度全国事務局長会議	6月30日	2人
	平成26年度がん征圧全国大会 (福岡県)	9月3日～5日	1人
	平成26年度関東甲信越支部連絡協議会 (栃木県)	11月14日	2人
	第5回乳房超音波技術講習会 (結核予防会共催)	2月6日～8日	1人
	第38回保健師・看護師研修会	2月26日～27日	1人
予 防 医 学 事 業 中 央 会	平成26年度第1回「全国運営会議」	5月29日	2人
	ネットワーク事務連絡会議	7月18日	2人
	ストレス検査データ処理共同システム説明会	7月18日	1人
	第32回全国情報統計研修会 (千葉県)	8月28日～29日	3人
	平成26年度第2回「全国運営会議」 (茨城県)	10月16日	1人
	第59回予防医学事業推進全国大会 (茨城県)	10月17日	2人
	平成26年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議 (群馬県)	10月30日～31日	4人
	ストレスチェックデータ処理システム共同開発に係る説明会	11月13日	1人
	平成26年度生化学検査研修会	1月29日～30日	2人
	平成26年度全国業務研修会 (鹿児島県)	2月11日～13日	2人
平成26年度第49回予防医学技術研究会議 (沖縄県)	2月24日～27日	1人	

2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等へ職員を参加させた。

名 称	開 催 月 日	参加人員
〈総務部〉 (公財)埼玉県健康づくり事業団 視察訪問	9月17日	4人
〈健診部・検査課〉 第55回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)	6月6日～7日	1人
第67回細胞検査士教育セミナー	8月30日～31日	1人
第26回日本超音波検査学会関東甲信越地方学術集会	10月18日～19日	1人
血液検査XEカスタマーレーニング	2月19日～20日	2人
平成26年度 臨床検査精度管理調査報告会	3月6日	1人
〈健診部・放射線課〉 2014国際医用画像総合展	4月11日	1人
第22回日本CT検診学会学術集会	2月12日～14日	1人
第5回マンモグラフィシステムユーザー会	2月28日	2人

- 3 県内の8つの検診機関等で構成する山梨県検診実施機関連絡協議会が3月6日に開催され、事業団もこれに参画し、精度管理向上に向けた諸課題に取り組んだ。

V 会議の開催

1 理事会・評議員会

- (1) 平成26年4月24日 第1回「理事会」(決議省略)
臨時評議員会の開催決定、役員候補者の決定等について可決承認された。
- (2) 平成26年5月9日 第1回「評議員会」 於 山梨県医師会6F会議室
役員の選定について審議が行われ、可決承認された。
- (3) 平成26年5月9日 第2回「理事会」 於 山梨県医師会6F会議室
理事長、専務理事、常務理事の選定、理事への使用人職務の委嘱について審議が行われ、可決承認された。
- (4) 平成26年6月10日 第3回「理事会」 於 山梨県医師会6F会議室
平成25年度事業報告、平成25年度決算報告、平成26年度補正予算(案)、評議員候補者の決定、第2回評議員会の開催について審議が行われ、可決承認された。
- (5) 平成26年6月24日 第2回「評議員会」 於 山梨県医師会館6F会議室
平成25年度事業報告、平成25年度決算報告、評議員の選任について審議が行われ、可決承認された。
- (6) 平成26年10月3日 第4回「理事会」 於 山梨県医師会館6F会議室
検診車の整備について、平成26年度補正予算(案)について審議が行われ、可決承認された。
- (7) 平成27年3月24日 第5回「理事会」 於 山梨県医師会館6F会議室
平成27年度事業計画(案)、収支予算(案)、第3期経営計画(案)について審議が行われ、可決承認された。

2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会を平成27年2月6日に開催し、事業団の経営状況、施設整備基本構想等について委員の方々から意見をいただいた。

VI 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、適切な医療情報の提供に努めている。平成26年度の救急案内件数は19,687件で、前年度と比較すると盆中、年末年始の案内件数が大幅に増えたことに加え、インフルエンザ等感染症の流行などを受け1,045件増加した。

現在、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供を行う業務を実施している。

1 業務内容

- (1) 情報の収集業務（医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集）
- (2) 情報の提供業務（患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供）
- (3) 各種統計の作成業務

2 年度別案内件数

(件)

年度	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計			
件数	21,254	19,368	18,917	19,333	18,642	19,687	307,342			

3 案内状況

(件)

種 別		平成25年度	平成26年度
救急医療情報センター案内件数		18,642	19,687
受付時間別案内件数	深夜（0時～8時）	2,374	2,280
	日中（8時～18時）	9,461	10,310
	準夜（18時～24時）	6,807	7,097
診療科目別案内件数	内 科	5,988	7,044
	小 児 科	2,631	2,446
	外 科	1,943	1,880
	整 形 外 科	2,662	2,844
	眼 科	1,160	1,186
	耳鼻咽喉科	1,180	1,169
	歯 科	1,177	1,115
	脳神経外科	643	656
	皮 膚 科	490	420
	産 婦 人 科	210	178
	泌 尿 器 科	209	207
	精神神経科	74	64
	そ の 他	275	478
計	18,642	19,687	